

2024年7月19日

国立大学法人 三重大学  
学長 伊藤 正明 様

三重大学教職員組合  
中央執行副委員長  
伊藤 良栄

### 3 技術部全学組織化に関する質問状

貴職におかれましては、工学部・工学研究科技術部のさらなる充実・発展、および運営におきまして、日頃よりご配慮をいただき有難うございます。

本年2月に3技術部全学組織化に関するWG 拡大打合せなる会議が開催され、技術部組織改編検討会議なるものを設置するとの連絡がありました。昨年に行われた全学組織化に関する各学部教員への聞き取りでは、工学部は全学組織化に同意しないとの結果であったこと、各技術職員へのアンケート結果では反対意見や懸念事項が多数出ているにも関わらず、これらの意見を無視し、技術部組織改編検討会議を設置して強引に全学組織化へ邁進しており、今後の教育研究支援業務に支障をきたすことは明らかな状況です。

このように強引な方法で全学組織化を推進する理由について、以下の質問に回答していただきたく問い合わせする次第です。

#### 記

#### 質問事項

##### 1. 3技術部全学組織化はデメリットばかりでメリットがない事について

工学部教員や技術職員からは、全学組織化してもメリットがない、との意見が多数出ています。

工学部技術部では、各研究室で研究支援を行っており、研究を推進するためには欠かせない存在となっています。全学組織化することで、人事権が工学部から離れ、後任の人材採用もできなくなり、研究力の低下を招く事となります。また、業務内容も各研究室のより専門的な支援はできなくなり、研究支援ではなく事務職員の業務負担を減らすための作業環境測定や安全衛生業務を主として行う事となります。先行して全学化を推進している国立大学はいずれも本来行うべき研究支援が行えなくなり、人事権が学部から奪われたため、後任人材も採用されず、作業環境測定と安全衛生業務を行う人材しか新規採用されていないとの事です。

このような問題について、どのように解決するのか、具体的に説明願います。

教育研究支援を強化する事とは真逆の方向に進んでおり、三重大学の衰退に繋がる全学組織化について、断固反対の姿勢であり、即時、全学組織化の検討を中止することを求めます。

2. 技術部の「全学組織化は全国的な流れ」との発言について

以前の会議議事録にありましたが、全国立大学の3割程度しか全学組織化しておらず、全国的な流れではありません。これは全学組織化には問題が多く、教育研究支援のためにならない事を表しています。何をもちて全国的な流れと説明されているのか、回答願います。

3. 全く関係がない文科省資料を全学組織化の根拠にしている事について

以前に社会連携チームから配布された文部科学省及び内閣府の資料（研究設備・機器の共用推進に向けたガイドライン）では、全学組織化に関して推進せよとの記載は一切ありません。主に記載されている事は、以下の4つであり、全学組織化とは全く関係がなく、三重大学の限られた共通研究設備・機器においては、現行体制のままでも十分に行える内容です。現行体制のままでも十分に行える内容です。

- ・ミッション（目的）の明確化
- ・キャリアパス改善
- ・育成体系の確立
- ・技術職員の貢献可視化

本資料を根拠に全学組織化が必要と説明を行っている理由を説明願います。

4. 来年度から全学組織化されるとの吉岡理事発言について

2025年4月から全学組織化すると吉岡理事が発言されたことと森工学研究科長より伺いました。全学組織化することのメリットの説明もなく、組織図も決まらず、教員からも技術職員からも反対意見多数な中、強引に全学組織化する事は許されません。

即時、全学組織化の検討を中止することを求めます。

なお、教員との意見交換等を取り入れていくことになっておりますが、どのような方法で、また反対意見が多数の場合どのように対応されるのでしょうか。

5. 技術職員の組織・キャリアプランについて

技術職員は従来、各研究室等に配属されていたものが、各学部の技術部組織化により、組織化されたものです。そのため、各技術部の技術職員は専門がバラバラで、現状でさえ組織化することに無理がある状況です（例：1つの組織内で財務部と施設部の職員が所属しているような状況）。

現状そのように組織化に向いていない体制であるのに、さらに別の専門組織を合併

させたところで、状況は悪化するだけであり、管理体制や育成体制、評価体制など、あらゆる事に問題が発生します。よって、組織は現行のまま、採用方法や職位に技術系研究教育職員を設け給与待遇を改善することで、先行している国立天文台や物質材料研究機構のように、より高度な教育研究支援が可能となり、より高位の技術職位を目指すキャリアプランのあるべき形であります。全学組織化は本案に逆行する形であり、教育研究支援を確実に衰退させる愚策であります。これについて、どのように考えているのか、回答願います。

6. 技術部の現場を知らない社会連携チームがなぜ本件に加わっているのか回答願います。

7. 技術部組織を全学化することで運営費交付金が増額されるのでしょうか？

希望回答日：2024年7月31日(水)

三重大学教職員組合としては、教育研究支援業務の衰退に繋がる技術部全学組織化には断固反対の考えに変わりはないため、工学部技術部は現行制度のまま存続するよう要望します。

以上、お忙しい中、お手数をお掛けしますが、どうかよろしくご回答をお願いいたします。